

大村小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、「地域に目を向ける」を活動テーマとして、ESDとは、子どもたちが将来社会に出たときに生きていく教育と捉え、ESDの実践を通して「他者を思いやる心の育成」を目標とした。
- ・①地域の人たちとつながる活動、②SDGs 委員会の活動、③健康を意識した活動を行った。

・活動の実際

① 「校区を花でいっぱい」～おせっ会の人たちと～

3年生の総合的な学習の時間に、「校区を花いっぱいにしてしよう」という学習を行っている。地域の「おせっ会」という団体のかたがたに花の植え替え方や育て方を教えていただきながら一緒に活動を行っている。校庭の花壇には、季節ごとに色とりどりの花が見られる。



水はたっぷりあげるんだよ

花を育てる活動をとおして、人との交流を深めるとともに、学校から地域へと視野を広げる地盤づくりを行っている。

② SDGs 委員会活動 ～袋いっぱい活動～

発足して4年目のSDGs委員会では、小学校で行えるSDGsについて考え、活動を続けている。運動会や持久走大会などの行事の前に、運動場の落ち葉拾いや草取りなどをすすんで行



けがをする子がいなくなるというね



みんなできれいにしよう!

た。また、運動場で元気いっぱい遊ぶ子どもたちがけがをしないように、「大きい石と枝を拾おう」キャンペーンも行った。自ら考えるSDGsなので、児童の発想をもとに考え、活動している。

③ 健康を意識した活動

野菜を摂取することの重要性を学び、自分の生活を見つめ直し、野菜を積極的に摂取しようとする子どもを育てることをねらいとして、ベジチェックを実施し、健康について考えた。ベジチェックとは、手のひらを専用機器にかざすだけで、野菜の摂取量を推定・見える化できる健康チェックツールである。児童・



ベジチェック、ドキドキするなあ

教職員全員がベジチェックを行い、その結果を保健室前のポスターにシールを貼って掲示し、いつでも意識化できるようにした。学校保健委員会では、「もりもり野菜で健康マスター」をテーマに、アンケートの結果発表や寸劇、講師の先生による野菜の話も伺った。振り返りには、「毎日野菜を350g食べることを心がけていきたいです。朝、昼、夜と野菜を120gずつ食べたいです」「豊橋市では、糖尿病にかかる人が多いと聞いたので、これからも野菜をしっかりと食べ、おうちの人にも野菜のよさを広め、家族とともに健康な体をつくっていきたい」などの感想が記述されていた。参加された保護者のかたからは、「地産地消を意識して積極的に野菜を食べていこうと思いました」「健康マスターになれるよう家庭でも実践していきたいです」等の感想があり、家庭に広げていくこともできた。事後の取り組みとしては、第2回ベジチェックや推しのベジ募集、野菜を食べようPRを行った。



ベジチェック結果